



TITLE:

質疑應答

AUTHOR(S):

---

CITATION:

質疑應答. 地球 1926, 6(2): 149-150

ISSUE DATE:

1926-08-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183134>

RIGHT:

岩瀧町	四、一二	東成區	三、六、三七
各村合計	五七、四四	住吉區	一四、〇七
中 郡	三、九四	西成區	三、七、六三
峯山町	四、五五	堺 市	一〇五、〇〇元
各村合計	一八、三六	岸和田市	三、一、五〇
竹野郡	三、〇、三一	三島郡	九、六、五五
網野町	五、八六	高槻町	四、八、六六
間人町	三、一五	茨木町	七、〇、八四
各村合計	三、八、六四	吹田町	二、六、六三
熊野郡	二、六、五五	各村合計	六、三、三三
久美濱町	二、〇、六六	豊能郡	七、八、四九
各村合計	四、四、五二	池田町	三、四、六六
大阪府	三、〇、五、〇一	各村合計	五、〇、一八
大阪市	二、二、四、八四	泉北郡	二、六、五三
北 區	一、〇、五、三六	鳳 町	五、〇、一八
此花區	一、五、五五	濱寺町	三、四、九二
東 區	一、三、一一	高石町	八、五、四四
西 區	一、〇、一、六六	大津町	九、六、八
港 區	二、六、六六	各村合計	五、三、三三
天王寺區	一、八、四、四二	泉南郡	一、五、四、四六
南 區	一、三、四、四六	貝塚町	六、四、四六
浪速區	一、四、八、〇〇	佐野町	一、四、〇、六六
西淀川區	一、三、三、三一	各村合計	三、三、八、三三
東淀川區	一、四、八、三三	南河内郡	二、八、五、〇〇

質疑應答

富田林町	四、四、四四	小坂町	六、六、六六
長野町	四、三、七	布施町	二、四、四元
古市町	三、六、六六	各村合計	二、八、六、六六
柏原町	五、八、二〇	北河内郡	五、八、二〇
各村合計	一〇〇、三、三三	枚方町	五、四、三三
中河内郡	一、四、一、四四	守口町	五、六、六六
八尾町	六、四、一	各村合計	八、四、六一

## 質疑應答

問 湖沼に關する歐文參考書を擧げて下さい。(臺灣生)  
答 湖沼學として纏まつたものをAとし、一局部の調査研究報告又はある一國に關したものをBとして次に掲げる。

(文庫生)

- 1) Forel, F. A.—Handbuch der Seenkunde : Allgemeine Limnologie. Stuttgart, 1901.
- 2) Aufsess, O.—Die physikalischen Eigenschaften der Seen. Die Wissenschaft. Heft 4. Braunschweig, 1905.
- 3) Magrini, G. P.—Limnologia. Studio científico dei laghi. Milano, 1907.
- 4) Halbins, W.—Der gegenwärtige Stand der Seenforschung. I. Topographie, Hydrographie, Geologie der ausseruropäischen Seen. II. To-

pographie, Hydrographie, Geologie der europäischen Seen. *Fortschritte der Naturwissenschaftlichen Forschung*. Bde VI und VII. Berlin, 1912.

- 5) Halbfass, W.—Grundzüge einer vergleichenden Seenkunde. Berlin, 1923.

- 6) Collet, L. W.—Les lacs. Leur mode de formation, leurs eaux, leur destin. *Elements d'hydrogéologie*. Paris, 1925. (之は新刊書で著書はヤネバ大學の理學部長及び地質學教授であり、嘗ては瑞西水理局長であつた人である。美しい寫眞版が二十八葉あり、頁數三一六に達し、成生論、湖沼の水、湖沼の運命の三篇に分けて記述されてゐる全體を通じて地質學的考察に富んだものである。この頃では四圓以内で買へる。)

- B. 1) Forel, F. A.—Le Léman. *Monographie limnologique*, t. I, 1892; t. II, 1895; t. III, 1904. Lausanne. (湖沼學に關する最大の調査書である)
- 2) Magnin, A.—Les lacs du Jura. *Généralités, sur la limnologie jurassienne*. Lyon-Genève, 1895.
- 3) Russel, I. C.—Lakes of North America. Boston etc. 1895.
- 4) Delebecquey, A.—Les lacs français. Paris, 1898.
- 5) Murray, J. and L. Pullar.—*Bathymetrical survey of the scottish Fresh-water Lochs*.

Edinburgh, 1910.

- 6) Scott, I. D.—Inland Lakes of Michigan.

*Michigan geological and biological Survey*.

*Publication 30, 1921*

問 西班牙夏期標準時の説明を乞ふ。(奈良、片山生)

答 西班牙は本年四月九日左記の勅令を公布せり、第一條

夏季標準時施行を開始すべく四月の日時並平時標準時に複歸すべき十月の日は毎年閣議の決定により勅令を以て定む、

第二條本年四月十七日二十三時よりは平時標準時を六十分進

ましめたるものを夏期標準時とす、第三條來る十月二日二十

四時を以て平時標準時に複歸すと、之れ西班牙にて夏季晝間

長き時に於て燃料及電力の經濟及國際的事項の連絡及其調節

の爲一九一八年、一九一四年、一九二四年の三回既に夏期標

準時を定め一時間を進ましめしが今年以降はこれを毎年行ふ

こととなりし也。こは大戰中より英佛何れも夏期は同事情に

よりて一時間を早めつゝありし處のものなり。蓋し西班牙の

平時標準時は英佛と共に綠威本初子午線の時を標準とす、然

に一時間を早むる事は東經十五度の時に變更さるることなり

て那威瑞典丁抹獨逸埃太利瑞西伊太利等中歐は總てこの東經

十五度の標準時の國なれば夏期丈は英佛西と共にこの歐洲

中央標準時に一致することとなる次第なり、その燃料節約を

いふは一時間早く起きて一時間早くれる爲に電燈料等に影響

する意味ならん。かくて歐洲西部がすべて同一標準時に屬するは國際關係の上に便利なるは申さるべき也。(M生)